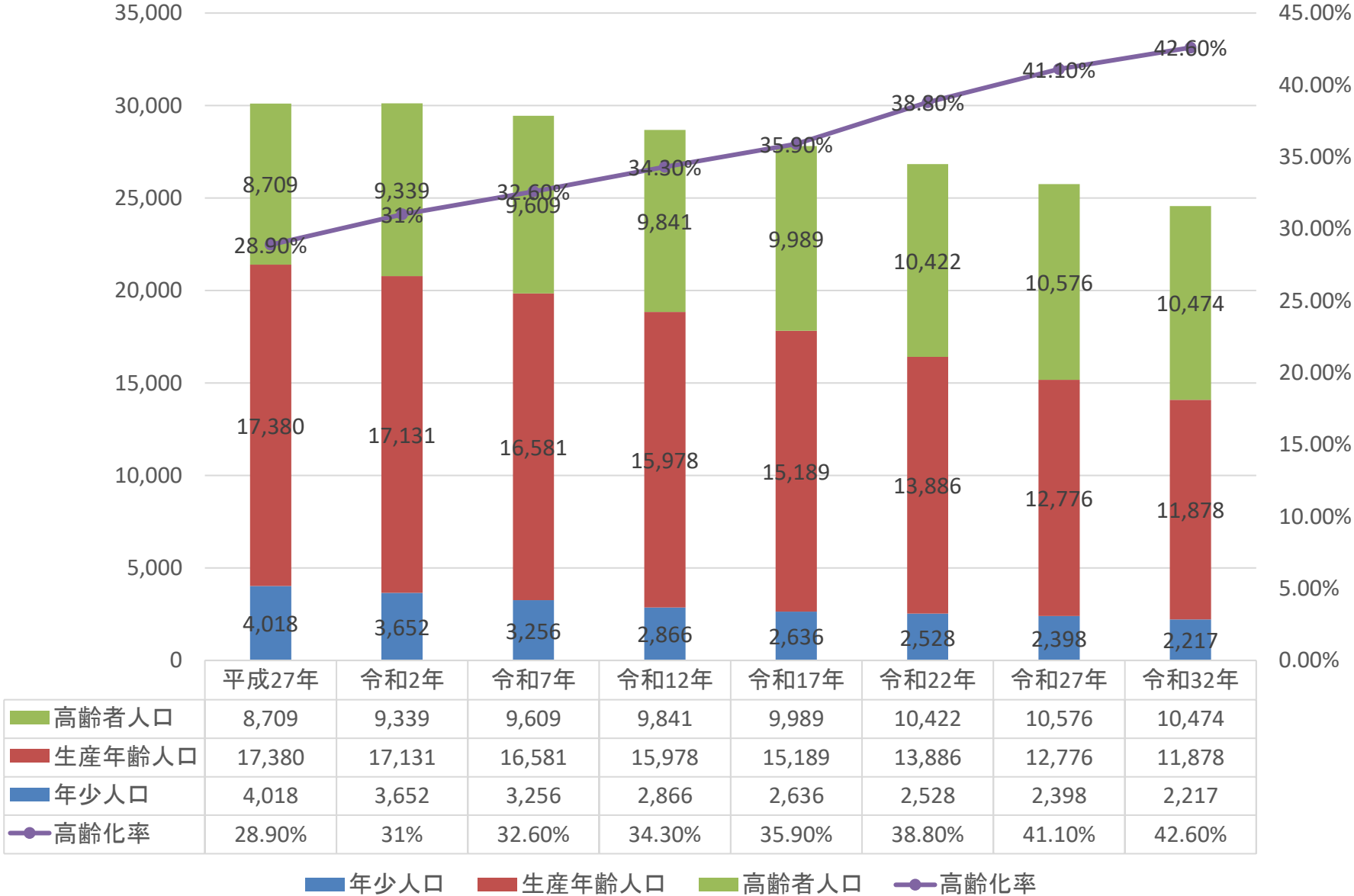




医療と介護の連携の作り方 (多職種連携会議を通して)

東御市役所福祉課
地域包括支援係

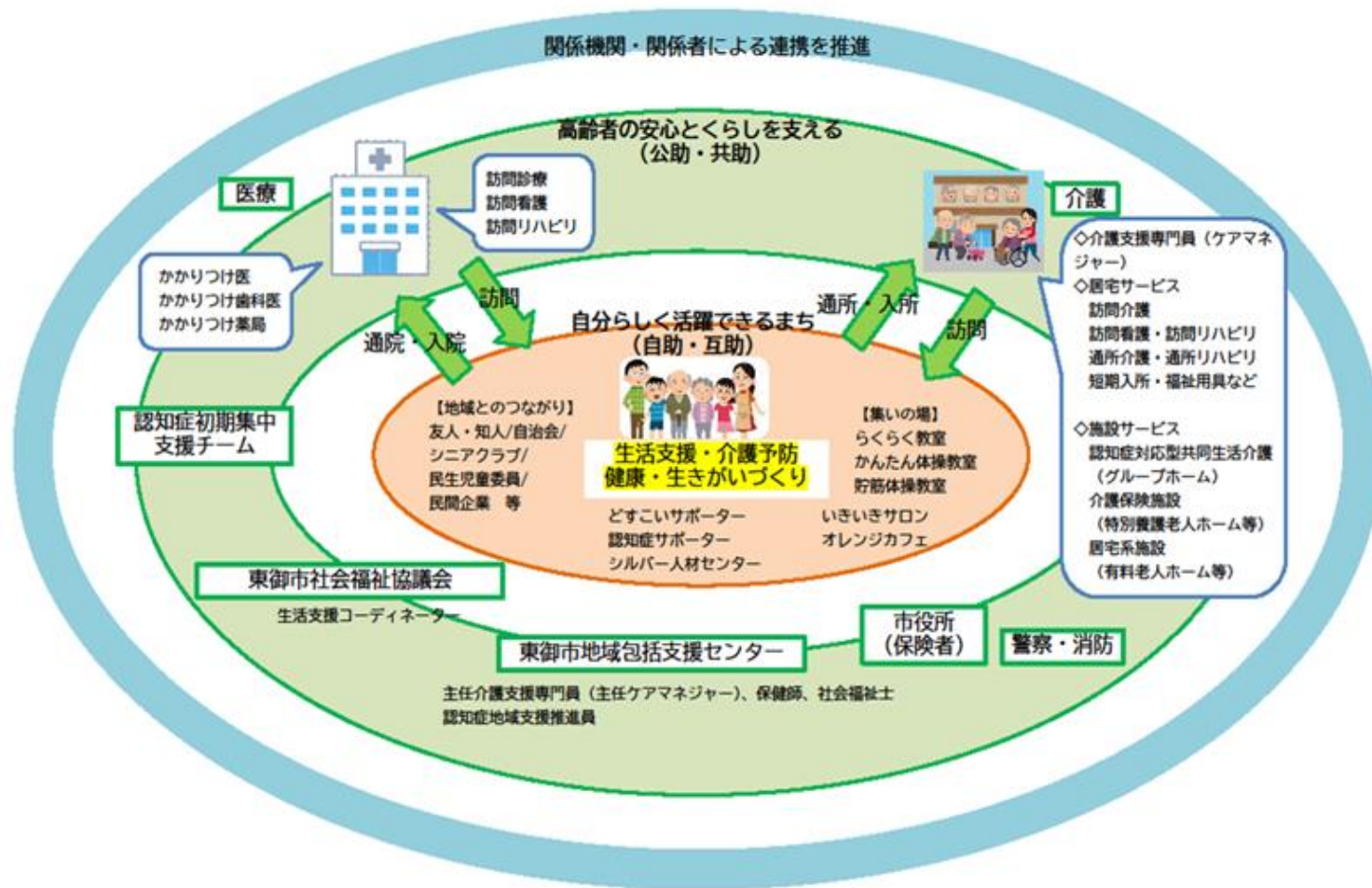
東御市の高齢化率の推移と将来推計



東御市が取り組む地域包括ケアシステム

基本理念:「共に支え合い、健やかに暮らせるまち」

～子どもから高齢者まで、健やかに自分らしく暮らし続けられるようにする～



基本目標

- 1 健康で生きがいを持って暮らせる地域の実現
- 2 住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らせる地域の実現
- 3 持続可能な介護サービス提供基盤の構築

地域包括ケアシステムの実現に 向けた東御市の取り組み

4つの柱

- ① 在宅医療と介護の連携
- ② 介護予防
- ③ 生活支援体制整備
- ④ 認知症施策

在宅医療・介護連携推進事業

目指す姿

医療や介護の支援を必要とする高齢者の「住み慣れた場所で最期まで暮らしたい」という希望を叶えるために、在宅での暮らしを支える医師、看護師、ケアマネージャー、訪問介護員など様々な職種が連携・協力しあい、支援に取り組むことを目指す。

在宅医療・介護連携推進事業

- 多職種連携会議の開催
- 地域ケア推進会議の開催
- 障がい者の福祉から介護へのスムーズな制度移行
- 相談窓口の周知
- 人生会議の推進
- 身寄りのない方へのサポート体制の構築

多職種連携会議

医療・介護・福祉に加え、地域の様々な職種で課題の共有や研修等を実施し、安心な暮らしを支えるために「顔の見える」連携を深める。

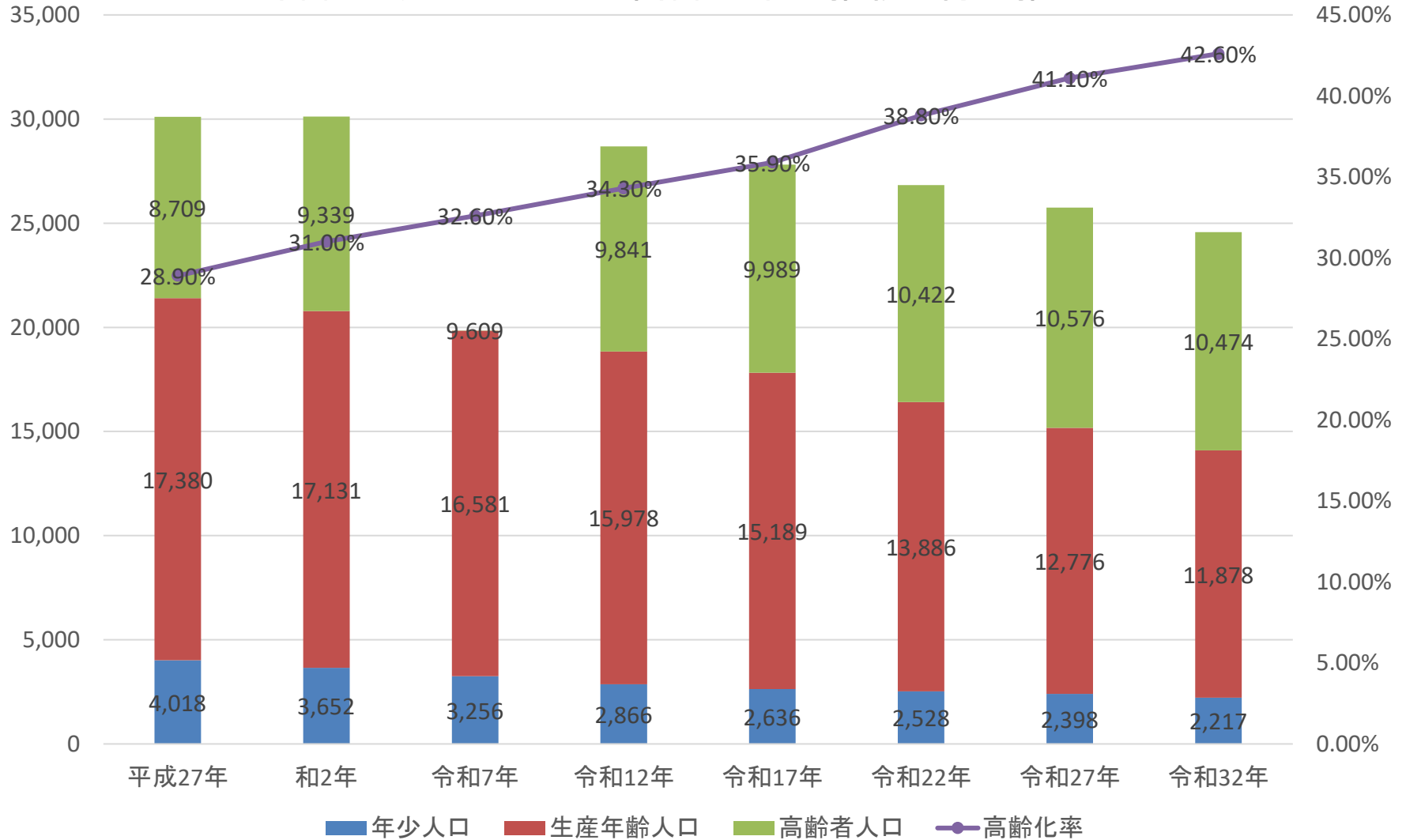
実施回数：年4回

招集範囲：市内医療機関（医師、歯科医師、看護師、薬剤師）、訪問看護事業所、居宅介護事業所、訪問・通所介護事業所

内容：「在宅で過ごすために必要なことを、多職種の連携で解決しよう」

多職種連携会議

年齢3区分別人口及び高齢化率の推移と将来推計



(出典)総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口(令和5年推計)」

多職種連携会議

「ヘルパー不足」

対策①

6月

多職種連携会議においてグループワークで課題
を抽出

7月

市内5か所のヘルパー事業所へアンケート調査
を実施

多職種連携会議

「ヘルパー不足」

対策②

7～8月

アンケート結果の分析

ヘルパー事業所との懇談会の実施

市としての対応策を検討

多職種連携会議

「ヘルパー不足」

アンケート結果からわかったこと

需要が集中する時間帯がある

遠距離訪問に対する補助

利用者等からのハラスメント対策

研修等の人材育成のための支援

訪問介護事業のイメージアップ啓発 等

在宅医療・介護連携推進事業

- 多職種連携会議の開催
- 地域ケア推進会議の開催
- 障がい者の福祉から介護へのスムーズな制度移行
- 相談窓口の周知
- 人生会議の推進
- 身寄りのない方へのサポート体制の構築

地域ケア推進会議

個別地域ケア会議や多職種連携会議、生活支援協議体会議等から把握した医療・介護・福祉に係る地域の課題を、広く関係者間で共有し、課題解決に向けた支援体制の構築を目指す。

回数：年2回

招集範囲：医人会、薬局、訪問系サービス（訪問看護、訪問介護）、通所系サービスからそれぞれ代表者1名を決め、1年ごとの任期で会議に出席

内容：地域の課題を市の施策につなげるための具体策を決定する

地域ケア推進会議

「ヘルパー不足」

9月

地域ケア推進会議の実施。

課題解決のために市で検討した内容を説明。

①高齢者の日常生活をサポートするための
新たな事業の創設

②多職種間のネットワークシステムのICT化

在宅医療・介護連携推進事業

- 多職種連携会議の開催
- 地域ケア推進会議の開催
- 障がい者の福祉から介護へのスムーズな制度移行
- 相談窓口の周知
- 人生会議の推進
- 身寄りのない方へのサポート体制の構築

東御市民間介護・福祉事業所連絡会

地域包括支援センターも一事業所として参加。

毎月役員会を開催。

年に4回程度、定例会を開催。

市の事業や会議の内容など情報提供を行う。

障がい者部会・高齢者部会を設置。

令和6年度は、「障がいから介護へのスムーズな移行に関する好事例」について事例発表を行う。

在宅医療・介護連携推進事業

- 多職種連携会議の開催
- 地域ケア推進会議の開催
- 障がい者の福祉から介護へのスムーズな制度移行
- 相談窓口の周知
- **人生会議の推進**
- 身寄りのない方へのサポート体制の構築

人生会議の推進

- 令和4年度「4つの場面における東御市の課題」についてアンケート調査をした中から「看取り」エンディングノートの取組みとその共有を内容とした。
- 令和5年度「東御市版人生ノート作業部会」を立ち上げて「わたしのおもいを伝えるメモ」を作成した。
- 出前講座「人生会議」を開催し、市民に普及啓発を行っている。

東御市版おもいを伝えるメモ



(名前) _____ の

おもいを伝えるメモ

人生の最終段階や認知症などになる前に、書いてみませんか。

自分が希望する生活を送るために、これからの自分がどう生きたいのか、どう過ごしたいのか、身近な人と話しながらこの「メモ」を使ってみましょう。

このメモは、「書く」ことが目的ではありません。おもいを知ってほしい方に、あなたの思いを「伝える」ためのメモです。

記入日： _____年 _____月 _____日

一緒に話した人 _____

東 御 市

わたしの大切にしているモノ・コト			
例) ペット・身につけるもの・本・畑・家・会いたい人など			
わたし大切にしているモノ・コトを記入してください。 (おまけに大切な理由も書いてください。)			
今日の感想			
これだけは伝えたいメッセージ			
わたしの おもいを 託したい人	氏名	関係	その人はおもいを 知っていますか
			はい ・ いいえ
			はい ・ いいえ
			はい ・ いいえ
お問い合わせ先			
■ 東御市役所 健康福祉部 福祉課 地域包括支援係 ☎ 0268-64-5000			
作成：東御市			
東御市地域ケア推進会議作業部会		発行年月：令和6年2月	

東御市版おもしろい伝えるメモ

わたしの「もしものとき」について

身体が不自由になったとき	介護をお願いしたい人 ☐ 家族 ☐ 友人・知人 ☐ 介護職 ☐ その他 ()
	介護をしてほしい場所 ☐ 自宅 ☐ 施設・病院 () ☐ お任せする
	そう思った理由・具体的な希望

認知症になったとき	介護をお願いしたい人 ☐ 家族 ☐ 友人・知人 ☐ 介護職 ☐ その他 ()
	介護をしてほしい場所 ☐ 自宅 ☐ 施設・病院 () ☐ お任せする
	そう思った理由・具体的な希望
意思決定が難しくなったときに決定してもらいたい人 ☐ 家族 ☐ 友人・知人 ☐ 介護職 ☐ その他 ()	

命にかかわるような病気になる場合	告知について ☐ 病名や余命を告知してほしい ☐ 家族などに任せる ☐ 病名のみ告知してほしい ☐ 告知してほしい
	延命治療について (あなたが余命6か月あるいはそれより短い期間と告げられたとき) ☐ 可能な限り延命治療を受けたい ☐ 苦痛を少なくすることをしてほしい ☐ 延命治療は希望しない ☐ その他 ()
	人生の最終段階を過ごす場所 ☐ 自宅 ☐ 病院・施設 ☐ その他 ()
	そう思った理由・具体的な希望

※記入できる場合は、活用ください。

葬儀・お墓のことなど	葬儀業者などとの生前契約・予約 ☐ 契約・予約している(業者名:) 連絡先:) ☐ していない
	葬儀の内容 ☐ 内容に希望がある(家族葬・) ☐ 家族・親族に任せる ☐ なし
	遺言書について ☐ ある ☐ ない
	お墓など ☐ 決まっている(場所:) ☐ 決っていない



まとめ

- 地域包括ケアシステム実現に向けた取組の一つとして「在宅医療と介護の連携」に取り組んでいる。
- 在宅での暮らしを支える様々な職種のネットワークづくりを継続的に行い、高齢者が住み慣れた場所で最期まで暮らせるためにどうすればよいかを検討し合う場として多職種連携会議を開催している。
- 多職種連携会議であがった課題を解決する方法を検討し、市の施策につなげるような会議を地域ケア推進会議で実施する。

ご清聴ありがとうございました。

